

2020年6月3日

取引先様 各位

株式会社エコ・サッポロ

代表取締役 高橋 優

札幌市東区北31条東16丁目2番18号

【次亜塩素酸水に関する報道や記事に対するの弊社見解について】

日頃から微酸性次亜塩素酸水スコットクリーン並びにKSC(OEM商品)をご愛用頂き誠にありがとうございます。

この度独立行政法人製品評価技術基盤機構(以下NITE)より「次亜塩素酸水等の販売実態について」という発表があり、その中で「次亜塩素酸水の有効性は確認できず」とした部分を切り取り、効果が無いと決めつけている記事や報道がされました。たしかに検証をまだ実施していないので有効性は確認出来ておりませんが、「検証したが有効性がなかった」と誤って伝わってしまっているのが、混乱の原因となっており北海道大学を含む一部研究機関では新型コロナウイルスに対して次亜塩素酸水の有効性を認める発表はされておりますがNITEの検証はこれからとなりますので、弊社としましてはNITEの検証結果を待ちたいと思います。

【次亜塩素酸水の除菌効果については疑問との報道や記事について】

「メーカーは特定の菌やウイルスへの有効性も開示せず無責任だ」ともとれる記事や報道がございましたが、「次亜塩素酸水」は薬機法上雑貨品に該当する商材となっており、薬機法上雑貨品は特定の菌やウイルスの除菌効果をメーカーが発表する事が出来ません。以下、参考までに厚生省が公表している資料から抜粋となります。

表2. 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムの抗菌・抗ウイルス活性

病原菌・ウイルス	次亜塩素酸水 (40ppm: HClO)	次亜塩素酸ナトリウム (1,000ppm: NaClO)
黄色ブドウ球菌 <i>Staphylococcus aureus</i>	◎(<10 秒)	◎(<10 秒)
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌; 多剤耐性)	◎	◎
腸管出血性大腸菌 <i>Escherichia coli</i> O-157 H7	◎	◎
緑膿菌 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	◎	◎
サルモネラ菌 <i>Salmonella</i> Enteritidis	◎	◎
腸炎ビブリオ菌 <i>Vibrio parahaemolyticus</i>	◎	◎
その他のグラム陰性病原菌	◎	◎
セレウス菌 <i>Bacillus cereus</i>	△(3~5 分)	△(3~5 分)
結核菌 <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	△(~2.5 分)	▲(~30 分)
ノロウイルス(ネコカリシウイルス: Feline Calicivirus)	◎	○
ヘルペスウイルス (Herpes virus)	◎	◎
インフルエンザウイルス (Influenza virus)	◎	◎

【次亜塩素酸水の空間噴霧は有害との記事や報道について】

弊社が使用している生成器メーカーがその生成器より出される次亜塩素酸水で岡山大学との共同研究にて以下の試験を行っております。

- ★ 経口投与試験：：ラットを用いた経口投与試験
- ★ 噴霧吸入試験：：ラットを用いた噴霧試験
- ★ 皮膚刺激性試験：ラットを用いた皮膚刺激試験
- ★ 眼刺激性試験：：ラットを用いた眼刺激性試験

いずれも安全となる結果となっておりますが、先日の NITE が公表した資料の中に社会福祉施設等において次亜塩素酸ナトリウム液の噴霧は「吸引すると有害であり、効果が不確実であるから行わないこと」と記されておりますが、次亜塩素酸ナトリウムの空間噴霧は肺炎等を引き起こす可能性がございますので大変危険です。重要なのは次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは、名前こそ似ておりますが、特性や安全性がまったく違い、混同してしまう事は非常に危険です。次亜塩素酸水の噴霧に関しては問題なく NITE の資料の中でも「次亜塩素酸水を用いた市販の製品等の安全性等に言及するものではない」と明確にしております。

スコットクリーン（微酸性次亜塩素酸水）

液性：微酸性

用途：除菌・消臭

安全性：高い

洗浄力：低い

次亜塩素酸ナトリウム

液性：強アルカリ

用途：殺菌・漂白

安全性：低い

洗浄力：高い

次亜塩素酸水は洗浄力が低い代わりに除菌性能を次亜塩素酸ナトリウムと比べ除菌速度が 80 倍高いといわれており、次亜塩素酸ナトリウムは取り扱いに注意が必要ですが洗浄力が高く掃除に向いているといえますので、それぞれの特性をよく理解し使用していただきたいと願います。

今後も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上。